

県央工業の生徒が八十里越の工事現場を見学しました

9月7日、新潟県央工業高等学校の建設工学科都市防災コースを選択している2年生20名が、建設中の国道289号八十里越の工事現場を見学しました。

この見学会は、建設業界の担い手確保を目的としており、一般社団法人新潟県建設業協会が主催し、長岡国道事務所が協力して実施したものです。

見学箇所の1号トンネル及び5号橋梁では、各施工担当者から工事の施工方法等について説明を行いました。当事務所はこれからも建設業界の担い手確保の取り組みに協力していきます。

【1号トンネル】



【5号橋梁】



【見学会に参加した生徒さんから感想を頂きました】

・いままで、工事中のトンネルに入る機会があまりなく、とても新鮮でした。トンネルの中は、とても暗く、作業するのがとても大変そうでした。就職希望で建設業に就きたいと思っていますのでこれからの進路選択に生かしていきたいと思います。

・現場見学に参加し、有害な空気を吸わないための対策や安全に工事を進めるための対策をしていたので驚きました。私も将来、このような仕事に就きたいと思っていますので、今回の現場見学は、進路選択の役に立ちました。

・トンネル1つを作るのにも巨額な費用と多くの人数を要することに驚きました。完成までとても時間がかかりますが人の役に立つ、やりがいのある仕事と思いました。

『ちよーこく通信』 第75号(平成30年9月号)より